

# iff

## 行動規範



# 目次

■ CEOからのメッセージ	4
■ CHIEF COMPLIANCE OFFICERからのメッセージ	5
■ 規範を実践する .....	6
価値観を実践する	8
助言を求める	9
通報する (SPEAKUP)	10
懸念事項を報告する	10
懸念事項を報告する際に求められること	11
コンプライアンスと協力に関する要望	12
結果に責任を持つことが重要	12
報復から守る	13
■ 指針となる原則 .....	14
人々のために正しい行動をとる	15
包摂的な職場を作り維持する	15
差別やハラスメントのない職場をつくる	16
差別およびハラスメントとは?	16
人権と公平な労働を尊重する	17
安全を優先する	18
安全な職場環境を維持する	18
薬物乱用	18
職場における暴力	18
地球のために正しい行動をとる	19
サステナビリティを推進する	19
コミュニティをサポートする	19
■ 贈収賄および汚職を防止する .....	20
贈収賄および汚職に断固として立ち向かう	20
禁止されていること	22
賄賂とは?	22
ファシリテーションペイメント	22
あなたの責任	23
贈答品、接待、もてなしを倫理的に取り扱う	24
政治活動に責任を持ってアプローチする	25

■ <b>ビジネスにおける誠実さ</b> .....	<b>26</b>
公平で透明性の高いビジネス慣行に取り組む	28
利益相反について透明性を維持する	28
利益相反とは?	28
正確な記録を維持する	30
インサイダー取引および重要な非公開情報の開示を防ぐ	31
倫理的な取引を通じてビジネスパートナーとの信頼関係を構築する	32
ビジネスパートナーに同等の基準を求める	32
マネーロンダリングおよび関連活動に対する警戒を怠らない	33
貿易管理法に従う	33
公平に責任を持って競争する	34
競合他社の情報を取り扱う	34
競合他社が顧客でもある場合	34
これが重要な理由	35
製品のコンプライアンスと規制の完全性を保証する	36
■ <b>IFFの有形固定資産と資産の保護</b> .....	<b>38</b>
詐欺、窃盗、無駄、不正使用を禁止する	39
当社の知的財産、営業秘密、機密情報を保護する	40
保護すべきもの	40
機密情報を伝える	42
■ <b>外部とのコミュニケーションとプライバシー</b> .....	<b>44</b>
コミュニケーションとソーシャルメディアに慎重に対応する	45
ソーシャルメディアを利用する	46
技術および通信システムを責任を持って使用する	47
適切な使用	47
セキュリティと機密性	47
監視とプライバシー	47
人工知能(AI)を倫理的に活用する	48
AIの責任ある使用と開発	48
禁止されている使用方法	49
プライバシーを守り個人データを保護する	50
個人データとは?	50
文書を適切に保管する	51
法的保全義務と例外	51

## CEOからのメッセージ

IFFの目的を再定義した際、私たちは新たな価値観をもって、IFFの理念を堂々と宣言しました。それは、私たちはパートナーであり、情熱的で、粘り強く、原則を重んじるということです。当社のコアバリューである「原則を重んじる」ということは、安全かつ倫理的に、責任を持って行動することで、人と地球にとって正しい行動をとることを求めることです。当社の価値観はIFFの全社員にとっての指針となります。また、当社の行動規範は、事業運営やビジネスパートナーとの関わり方についての実践的なガイドラインを提供します。本規範は、最高水準の倫理基準で事業を運営するという当社のコミットメントを反映しており、当社の倫理的枠組みの基盤として、価値観に沿った行動と意思決定を形成します。全社員が、行動規範を遵守することで、最大限の誠実さとプロ意識を持ってすべてのビジネス上のやり取りを遂行することが求められます。

信頼が私たちの関係の礎です。私たちは、革新と業績だけでなく、誠実さ、透明性、公平性、コンプライアンスを通じて信頼を獲得します。本規範を遵守することは、持続的なパートナーシップを構築し、市場での当社の評判を守ることに繋がります。

各社員は、本規範を遵守し、倫理的に行動する責任を負い、その結果に責任を持ちます。本規範を注意深く読み、常に当社の価値観を反映し、他者から寄せられる信頼を強めるような行動を取るようお願いいたします。

全員で協力して、今後も成功を収めるだけでなく、すべての人々の喜びとインスピレーションの源となる会社にしていきましょう。

**Erik Fyrwald**  
Chief Executive Officer



# CHIEF COMPLIANCE OFFICERからのメッセージ

IFFの根幹にあるのは、私たちの存在意義、働き方、お互いの接し方を定義する価値観です。この行動規範は、これらの倫理基準(誠実さ、透明性、正直さ、尊重、結果に対する責任)を反映し、原則と目的を持って行動するための指針となります。

ただし、本規範は単なる紙に書かれた言葉ではありません。本規範は私たちの選択や日々のやり取りを通じて活かされます。皆さん一人ひとりが本規範を業務に活かす重要な役割を担っています。

本規範は、複雑な状況を確認と明確さを持って前進するための枠組みを提供します。すべての状況を網羅しているわけではないものの、対処可能なリソースの情報を提供しています。その他の指針については、当社の諸方針、手順、実践的なツールを参照するか、倫理・コンプライアンスチームに連絡してください。また、人事部または法務部の担当者にサポートを求めることもできます。

本規範を共に実践することで、私たちはIFFの真髓を体現する職場、すなわち私たちの独自性を尊重し、文化を強化し、正しい行動をとる力を高める職場を育みます。


**Brynn Samson**  
Chief Compliance Officer



# 規範を実践する

当社は、IFFの全社員（および派遣社員、インターン、契約社員）が、毎日の出社が楽しみになるような環境を作るため、職場を包摂、敬意、責任、そして正しい行いを、例外なく約束する場所にするよう取り組んでいます。





いかなる行動も、倫理、正直さ、誠実さの面で、最高の基準の下に行われなければなりません。世界中で業務を行うにあたり、私たちが取る行動の一つ一つが、これら高い基準に従い、この行動規範(以下「規範」)、IFF諸方針、あらゆる準拠法、規制に準拠している必要があります。また、組織の他の人が同じような行動をとるよう、私たちは同等に注意を払う必要があります。

世界中のすべてのIFFの社員、取締役、役員は、本規範およびIFFの方針と手順を確認し、理解し、遵守する責任があります。

誠実な文化と倫理的な意思決定の育成において、マネージャーは重要な役割を果たします。マネージャーは、本規範に従うことに加えて、以下のことを求められます。

- IFFの価値観と倫理基準を一貫して遵守することで、模範を示す
- チームが本規範について理解し、それが自分たちの日々の業務にどのように適用されるかを理解できるよう支援する
- 定期的なコミュニケーションを通じて、またコンプライアンスに関するトピックをチームの話し合いに取り入れることで、倫理的な行動を強化する
- 倫理的な行動を認識し、それを評価し、当社の基準を満たさない行動に対処する
- 社員が安心して質問し、懸念を挙げることができる、安全でオープンな環境を構築する
- 透明性を高め、善意を持ってスピークアップする人を報復から保護し、公平に、えこひいきすることなく対立を解決する
- 適切な場合、倫理・コンプライアンス、法務部、または人事部に懸念を速やかに報告することにより、問題をエスカレーションする

本規範の内容は、テレワークまたはオフィス勤務か、会議や顧客イベントに出席しているか否か、IFFとしてその他活動をしているか否かに関わらず、世界中の社員に適用されます。本規範とIFF諸方針、現地の法律や規制の間に齟齬がある場合は、倫理に関する上位規定に従ってください。

# 価値観を実践する

## 当社の価値観は私たちの行うことすべての基礎になる。

当社の価値観は、あらゆる意思決定、あらゆる革新、あらゆるパートナーシップを導きます。IFFでは、誠実に行動すること、人々と地球に対して責任を持ち、それらに配慮することは、単なるビジネスの一環ではなく、それが私たちのビジネスです。

これらは単なる理想ではなく、私たちの日々の行動と意思決定を形作るものです。当社の行動規範を通じて、これらを実践します。行動規範には、私たちのあり方(パートナーであり、情熱的で、粘り強く、信念を貫く)が反映されています。

### パートナー

私たちは、協力と包摂性の力を信じています。IFFでは、専門知識を共有し、多様な視点を尊重し、顧客や同僚との永続的な関係を構築することで、協力して成功を収めます。当社の強みは私たちの結束にあり、共通の目標が世界中で有意義な影響を与える革新を推進します。

### 粘り強さ

私たちは決して前進を止めません。継続的な改善への取り組みは、私たちが常に学び、進化し、要求を超えられるよう努力していることを意味します。粘り強さは、安全で持続可能で斬新なソリューションを提供するという、顧客、コミュニティ、私たち自身に対する約束です。

### 情熱的

情熱は私たちの燃料です。ソリューションの背後にある科学から、それらを実践する創造性まで、私たちは自分たちが作り出す喜びによって活気づけられます。私たちは自分たちのすることを愛し、その理由を愛し、それをうまく成し遂げ、大胆なアイデアを提示し、あらゆるやり取りにおいて卓越性を示します。

### 信念を貫く

誠実さは私たちの基盤です。私たちは目的と責任を持って行動し、すべてにおいて、安全性、倫理性、包摂性であること、透明性を優先します。信念を持つことは、簡単なことだけでなく、正しいことを行うことを意味します。それにより、人々、地球、およびサービスを提供する人々からの信頼を守ることができます。

私たちが作るすべての製品、私たちが生み出すすべての画期的な成果、私たちが提供するすべてのソリューションにおいて、当社の価値観はすべてを結びつける糸です。価値観は、私たちが目的をもって、良心に従って創造し、誠実に成長するよう導きます。

# 助言を求める

本規範は、IFFの価値観と倫理基準に関する指針です。本規範は、多くの一般的な状況を取り上げていますが、一部の課題はより複雑で繊細な場合があります。

適切な行動が明確でないことも多くあります。不確実性に直面した場合、次のように自問してください。

これは合法か？



IFFの規範、方針、価値観に沿っているか？



誠実さを維持することになるか？



IFFの評判を守れるか？



これが公になっても、心配ないか？

これらの質問のいずれかに「いいえ」と答えた場合、または確信が持てない場合は、続行する前に立ち止まり、助言を求めてください。いつでも、倫理・コンプライアンス、法務部、または人事部に連絡してサポートを求めることができます。私たちは、皆さんが適切な意思決定ができるよう支援します。



# 通報する (SPEAKUP)

IFFでは、私たち一人ひとりが、本規範、IFF諸方針、適用される法律および規則に従って、組織全体で公正かつ倫理的でコンプライアンスに準拠したビジネス慣行を促進、維持する義務を負っています。違反の疑いがある場合や不正行為の疑惑に気が付いた場合は、速やかに懸念を報告しなければなりません。

## 懸念事項を報告する

懸念事項の報告方法はいくつかあります。

- 上司または人事部に直接報告する
- 倫理・コンプライアンス、または法務チームに連絡する
- IFFのSpeakUpホットラインに報告する
  - [iff.com/speakup](https://iff.com/speakup)からオンラインで報告する
  - [iff.com/speakup](https://iff.com/speakup)にある電話番号に電話する
- [compliance@iff.com](mailto:compliance@iff.com)にEメールを送信する

匿名での報告オプション(現地の法律で認められる場合)など、懸念を報告する方法は複数あります。当社は、より効果的に調査して対応できるよう、個人を明らかにすることを推奨していますが、匿名のまま報告するという選択を尊重します。最も重要なことは、声を上げるということです。

IFFは報告ホットラインの使用を推奨していますが、本規範または当社の方針や合意事項のいずれかにおいて法律違反を適切な政府または規制機関に報告すること、あるいは法的違反、調査、政府の検査、問い合わせに関連して、これらの機関に協力する、または情報を提供することを禁止または制限するものではありません。

## 懸念事項を報告する際に求められること

### 入力

- すべての報告は、第三者が管理するIFFの報告ホットラインシステムに入力される
- 現地の法律に従い、報告者を匿名のままにすることができる
- 各ケースには、主題、地域、またはその他の関連要因に応じて、課題担当者が割り当てられる

### 調査

- 課題担当者が、報告システムまたはEメール経由で報告者に連絡する
- 課題担当者が、挙げられた問題について適切なレビューを実施する

### まとめ

- レビューが完了すると、対応可能なアクションを含めた結果が要約される
- 機密保持のため、具体的な結果を共有されない場合がある

## コンプライアンスと協力に関する要望

IFFは、潜在的な違反または不正行為のすべての報告を真剣に受け止め、それらを徹底的かつ迅速にレビューおよび調査することを約束します。内部調査への参加を求められた場合、全面的かつ誠実に協力することが求められます。

## 結果に責任を持つことが重要

本規範、IFF諸方針、または適用される法律への違反、およびそれらの違反を隠蔽しようとする行為は、最高で解雇を含む懲戒処分につながる可能性があります。場合によっては、違反が社員やIFFの罰金または刑事罰につながる可能性もあります。

本規範に記載されている規則を理解し、従うことが不可欠であるのはそのためです。これらの規則は、社員、当社、そして私たちが利害関係者と築いてきた信頼を守るためにあります。

詳細については、IFFのスピークアップ: 懸念事項の報告と報復禁止方針を確認してください。



## 報復から守る

IFFは、善意を持って懸念を挙げる場合でも、調査に参加する場合でも、通報する人々を保護することに取り組んでいます。善意を持って報告することは、たとえ後で誤りであったことが分かったとしても、あなたが報告した時点で懸念が真実であると心から信じていることを意味します。

当社は、以下の人たちに対する報復行為を許容しません。

- 本規範、方針、または法律に対する違反の疑いを報告する、または報告を支援する
- ビジネス慣行、意思決定、行動についての懸念を挙げる、質問する、または助言を求める
- 内部調査または政府の問い合わせに参加する、または協力する



通報することは私たち全員が共有する責任であり、それを行う人々を守ることは私たち全員が尊重する取り組みです。

## あなたならどうしますか？

### ? 問題

IFFのSpeakUpホットラインに電話し、マネージャーが不快な発言したことを報告しました。この報告を調査する過程でマネージャーは聞き取り調査を受けましたが、その後、私は他の社員からも高い評価を得ており、常に販売目標を上回っているにもかかわらず、私の成績を低く評価しました。マネージャーの行為は本規範に違反していますか？

### 💡 解答

違反している可能性があります。IFFの方針は善意で懸念を報告した、いかなる社員への報復も固く禁じています。マネージャーの言動を報告したことを理由に、あなたの成績が低く評価された場合、それは報復に該当します。このようなマネージャーの行為は速やかに報告してください。

# 指針となる原則

私たちは、安全かつ倫理的、包摂的に責任を持って行動することで、人々と地球のために正しい行動をとります。

IFFでは、社員の健康と安全の保護から、事業を行うコミュニティとの敬意を持ったつながりの育成まで、誠実さに対する私たちの取り組みが私たちのすべての行動に反映されています。私たちは、高い基準の倫理的行動、環境管理、社会的責任に対する責任を負います。





# 人々のために正しい行動をとる

## 包摂的な職場を作り維持する

IFFは、同僚、サプライヤー、顧客、パートナーの独自性を尊重する職場を育成します。当社は、個人の表現、革新、成果を称え、多様な視点から生まれる強みを尊重します。包摂と帰属意識のこの文化は、個人の成長を助け、チームを強化し、成功を促す鍵になります。

私たちは、敬意と尊厳を持ち、偏見や差別、ハラスメント、先入観なしで、お互いに接することに取り組んでいます。公平な機会を提供し、すべての人たちが能力を最大限発揮するための支援と場所を確保することを目指しています。

すべての社員が、公平で敬意を持った、倫理的な文化を構築する役割を果たします。これは、単に善意を持っているだけでなく、公平性と帰属意識をサポートするために有意義な行動をとることを意味します。これには以下のことが含まれます。

- 個人的な偏見に対する意識を高め、その影響を減らすために努力する
- 全員のアイデンティティと経歴が尊重され、評価される職場をサポートする
- さまざまな文化的視点にオープンになり、多様なチーム間でコミュニケーションとコラボレーションを行う方法に適応する

協力して、革新やつながり、成功の共有を促進する包摂を日々実践します。

## 差別やハラスメントのない職場をつくる

一人ひとりの独自性を育む完全に包摂的な文化を維持するには、すべての同僚、顧客、ビジネスパートナーに尊厳と敬意を持って接する必要があります。当社は、いかなる直接的・間接的な差別やハラスメント、または威圧的・脅迫的な行為も許容しません。

## 差別およびハラスメントとは？

差別とは、個人の人種、皮膚の色、信条、宗教、性別、性的指向、性自認、もしくは性別表現、インターセックス、出身国、婚姻状況(異性婚、同性婚)、妊娠、家系、国籍、年齢、軍歴(現役、退役)、障害、遺伝的特徴、HIV感染、または法律で保護されているその他の特性を理由に、人を不公平に、または偏見を持って扱うことを指します。

ハラスメントには様々な形があり、威圧的、敵対的、不愉快な職場環境を作り出したり、個人の勤務成績を不当に妨害する目的を持った、もしくはそのような結果に導くあらゆる不快な活動が含まれます。上記のような法の下に保護されている特徴を動機とした差別によるハラスメントも禁止されています。このような行動は容認されず、IFF従業員がハラスメントのない環境で働く権利を侵害するものです。

### ハラスメントに含まれるものの例:

- 下品または攻撃的な言葉遣い
- 不適切な冗談
- 攻撃的または不適切な画像
- 脅迫や威嚇
- セクシャルハラスメント

### セクシャルハラスメントに含まれるものの例:

- 迷惑な身体的接触
- 性的な含みのある言葉遣いや写真
- 下品な身振り
- 不快な性的誘い
- 性的行為の要求
- その他の性的な性質の口頭または身体的行為

IFFのあらゆる種類の差別やハラスメントの禁止は、求人、採用、研修、異動、昇進、報酬、解雇などあらゆる人事活動に適用されます。IFFによる差別およびハラスメント禁止は、サプライヤー、お客様、その他ビジネスパートナーも対象となる他、職場内での活動および社外における業務にも適用されます

何らかのハラスメントまたは差別の対象となった場合、または目撃した場合は、直ちに通報および報告しなければなりません。

## 人権と公平な労働を尊重する

IFFは、全員の基本的な人権を尊重し、促進することに力を注いでいます。私たちは、当社の運営、サプライチェーン、事業を行うコミュニティにおいて、人権に対する悪影響を防止、軽減し、対処することに取り組んでいます。当社のサプライヤーやその他ビジネスパートナーに対しても、同様の取り組みを求めます。

### 当社の主な優先分野に含まれるもの:

- 児童労働を一切容認しない: 当社の事業における児童労働は厳しく禁止されており、サプライチェーン全体で児童労働の特定と防止に積極的に取り組んでいる
- 現代の奴隷制に一切容認しない: 当社の事業またはサプライチェーンにおけるあらゆる種類の強制労働または非自発的労働、および人身売買は容認されない
- 公平な競争: 当社は、すべての社員に生活に必要な賃金を支払うことに取り組み、サプライチェーン全体で生活に必要な賃金と生活のための所得を促進する
- 合理的な労働時間: 労働時間は合理的で、十分な休暇と有給休暇が提供されている
- 安全で健康的な職場: 職場での労働者の健康と安全が守られている
- 包摂と差別されない権利: 社員が包摂的な環境で働き、サプライチェーンおよびコミュニティにおける公平で敬意を持った対応の推進を目指す
- 関係構築の自由: 労働者は、自由に労働組合を結成したり、労働組合に加入したり、集団的に交渉したりすることができる
- 知的財産権: 財産と土地に対する権利と所有権は、バリューチェーン全体で尊重される
- 環境への配慮: バリューチェーン全体で、環境フットプリントを削減し、コミュニティの生活を保護することを目指す

詳細については、[グローバル人権方針](#)を参照してください。

# 安全を優先する

## 安全な職場環境を維持する

IFFでは、安全は絶対条件です。私たち全員が、自分自身、同僚、ビジネスパートナー、訪問者のために、安全で保護された職場を構築し、維持する責任を負っています。

こぼれた水を掃除したり、同僚に保護具の着用を促したり、危険を報告したりするなど、すべての行動が重要です。私たちは、傷害や事故を防止するために設計されたすべての適用される法律、規制、IFF諸方針を理解し、従わなければなりません。

常に注意を怠らず、必要なときに行動することで、全員にとって安全な環境を保証できます。危険な状態や行為に気付いた場合は、上司、サイトリーダー、または環境安全衛生、倫理・コンプライアンス、法務部、人事部の担当者に直ちに報告してください。

### 報告すべき問題の例:

- 誤作動している機器、またはメンテナンスが必要な機器
- 病気や怪我の原因となる危険物質への曝露
- 安全に実行するために追加の研修が必要な作業
- 人や環境にリスクをもたらす可能性のあるその他の条件や行為

## 薬物乱用

IFFは、安全で、健康的、かつ生産的な職場環境を維持することに注力しています。IFFは社員と、事業における誠実さを守るため、その敷地内において、就業中または会社が所有する設備の操作や車両の運転を行っている際に、アルコール、違法薬物、または規制薬物を利用、所持、売買、配布することを固く禁止しています。

社員は、安全かつ効果的に職務を遂行できる状態で作業を報告することが求められます。薬物乱用は、判断力を鈍らせ、他者を危険にさらし、安全性と誠実さに対する当社の取り組みを損なうものです。アルコールや薬物による影響下での作業は全員を危険に晒すため、容認されません。

## 職場における暴力

IFF敷地内における、またはIFFの業務を遂行している際の、社員またはその他の者による暴力もしくは脅迫行為は、身体的なものであるか、口頭であるかを問わず、決して容認されず、厳しく禁止されています。これには、身体的な攻撃、暴言、脅迫、武器の所持も含まれます。

このような行動は直ちに報告しなければなりません。差し迫った脅威がある場合は、地元の緊急サービスに連絡し、対象のサイトまたは危機管理手順に従ってください。

詳細については、職場での暴力防止方針を参照してください。

安全衛生に関して、たとえ小さな対応でも大きな違いを生み出すことを忘れないでください。

# 地球のために正しい行動をとる

## サステナビリティを推進する

サステナビリティは、IFFの事業展開における基盤です。より良い将来に向けた当社の取り組みは、当社の戦略に組み込まれていますが、これにより当社が責任を持って調達する原材料から、環境効率の高い工場の運営、そして持続可能性の重要な要素を考慮して慎重にデザインされた製品に至るまで、当社の事業運営全体にわたる革新を推進しています。

国連の持続可能な開発目標に従い、当社の統合されたサステナビリティ戦略は、「環境フットプリントの最小化」、「持続可能な革新の推進」、「責任ある調達の確保」、「人々とコミュニティの支援」という4本の主要な柱に焦点を当てています。当社は、お客様、消費者、世界のためにプラスの影響をもたらすことができる、最も重要な機会を目標としています。

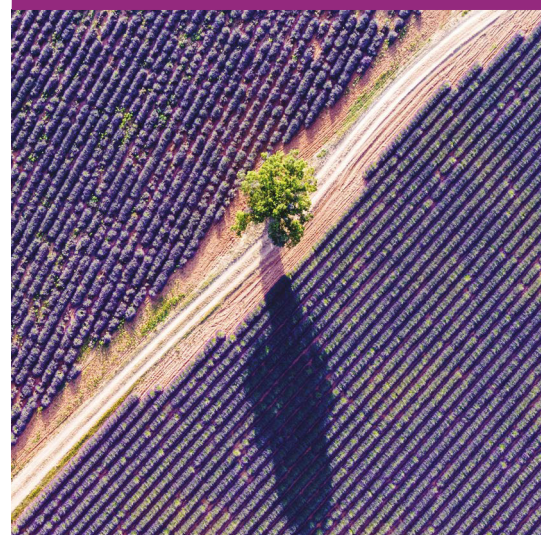
これまでの実績、現在の活動、今後の目標については、IFFのサステナビリティ報告書最新版をご覧ください。

## コミュニティをサポートする

IFFは、革新の促進、自然の保護、当社が生活し仕事をするコミュニティの支援など、当社の価値観と影響分野に従った慈善団体やコミュニティ活動の支援に取り組んでいます。すべての慈善寄付は、IFFの方針と手続きに従って承認されなければならない、適格な組織に対してのみ行うことができ、個人に対して、またはビジネス上の利益を得る目的で行うことはできません。

社員は、すべての承認プロセスに従い、寄付は透明性があるもので、適切に文書化され、適用される法律および会社の方針を遵守していることを確認することが求められます。政治的、宗教的、差別的な団体、またはIFFの利益に反する団体への寄付は、厳しく禁止されています。

詳細については、IFFの「コミュニティへの影響および会社の贈答方針と手順」を参照してください。



# 贈収賄および 汚職を防止する

## 贈収賄および汚職に 断固として立ち向かう

IFFは、私的または公的な関係を問わず、いかなる形態の贈収賄および汚職も一切容認しません。私たちは、地域の慣習や商習慣にかかわらず、倫理的かつ公平にビジネスを行い、世界中の適用される贈収賄および汚職防止法を遵守することに取り組んでいます。





## 禁止されていること

- いかなる状況においても、政府職員、ビジネスパートナー、第三者を含むいずれの者に対しても、決して賄賂またはファシリテーションペイメント(手続き円滑化のための金銭)を提案したり、支払ったり、承認してはならない
- ビジネス上の意思決定に不適切な影響を与えることを意図した、賄賂または価値のあるものを求めたり、受領してはならない
- 代理人やコンサルタント、その他の第三者を使用して、自身で行うことを禁止されていることを行ってはならない

## 賄賂とは?

賄賂とは、意思決定に不適切な影響を与えたり、ビジネスを確保したり、許可やライセンスを取得したり、不当な利益を得たりするために提供または受領する現金、贈答品、接待、もてなし、雇用機会、または特別な便宜などの価値のあるものを指します。

## 賄賂の例:

現金

贈答品

もてなしや接待

雇用機会

特別な便宜



## ファシリテーションペイメント

IFFは、現地の法律で認められている場合でも、ファシリテーションペイメントを禁止しています。ファシリテーションペイメントは通常、事務処理や通関手続きなど、日常的な政府の対応を迅速化するために行われる少額の支払いを指します。



## あなたの責任

すべての社員は、当社の行動規範と贈収賄防止方針を理解し、遵守することが求められます。不適切な行為に気付いた場合、またはそのような疑いがある場合、あるいは何かがおかしいと感じた場合、直ちに倫理・コンプライアンス、または法務部に連絡してください。

誠実に行動し、贈収賄や汚職を容認しないことにより、私たちはIFFの評判を守り、すべての人々にとって公平な市場を保証します。

## あなたならどうしますか？

### ? 問題

適切なラベルが貼られていないフレーバー製品が港に到着しました。税関職員は、自分にいくらか支払うことと引き換えに、貨物を解放することを申し出ました。顧客の注文に応えるため、その製品は緊急に必要です。それを支払ってもよいですか？

### 💡 解答

いいえ、支払うことはできません。このような支払いを行うことは、ラベル表示規則に違反するだけでなく、IFFの贈収賄防止方針および適用される贈収賄防止法にも違反します。この種の支払いは、しばしば「ファシリテーションペイメント」と呼ばれますが、多くの管轄区域で賄賂と見なされ、IFFの方針で厳しく禁止されています。

この行為に関与することは、あなたと会社の両方にとって、法律上、財政上、評判上の深刻な結果を招く可能性があります。緊急性や地域にかかわらず、社員は政府関係者に対する不適切な支払いを行ったり承認したりしてはなりません。このような要求に直面した場合は、直ちに倫理・コンプライアンスチームに連絡して助言を得る必要があります。

# 贈答品、接待、もてなしを倫理的に取り扱う

IFFは、お客様やサプライヤー、ビジネスパートナーとの良好な協力関係や友好関係は、当社の事業に不可欠なものとして追求しています。特に贈答品を渡す習慣のある文化において、妥当なディナーやイベントなど、過度でない業務上の接待の授受やささやかな贈答品のやり取りは、ビジネスパートナーとのつながりを強化するのに役立ちます。ただし、すべての贈答品、接待、およびもてなしは、当社の方針と法律を遵守したものでなければなりません。

## 贈答品、接待、およびもてなし

### 知っておくべきこと

- 贈答品、接待、もてなしを要求したり、催促してはならない
- ささやかなものにする。豪華な贈答品、接待、もてなしは決して認められない
- 不適切な会場、もてなし、またはプロとしての誠実さを損なう可能性のある活動を伴うイベントへの招待は辞退する
- ブランド品は過度でない限り認められる
- 自分(または受領者)の判断や行動に影響を与える、または潜在的に影響を与えるとみなされる可能性のある価値のあるものの授受を行わない。贈答品は、サービスや雇用、株式などの金融商品など、さまざまな形態で提供される
- 金額にかかわらず、現金、ギフトカード、ギフト券、宝くじ、またはその他の現金同等物は認められない
- 政府関係者に贈答品または接待を提供することは控えるこのようなやり取りを行う前に、倫理・コンプライアンスに連絡する
- 不適切で、当社の贈収賄防止方針に準拠しない贈答品は、辞退するか、直ちに返却する必要がある

贈答品、接待、またはもてなしが適切であるかどうか確信が持てない場合、または政府関係者が関与する場合は、進める前に倫理・コンプライアンス、または法務部に連絡してください。公に開示されることで、IFFまたはあなた個人に不名誉をもたらす恐れがある場合、それは認められません。

詳細については、IFF贈収賄防止方針、贈答品、接待、もてなしに関するガイダンス、およびIFF 旅費および経費方針を参照してください。政府関係者が関与する贈答品、接待、もてなしを開示するには、常にIFFの現行のコンプライアンス開示プロセスに従ってください。

# 政治活動に責任を持って アプローチする

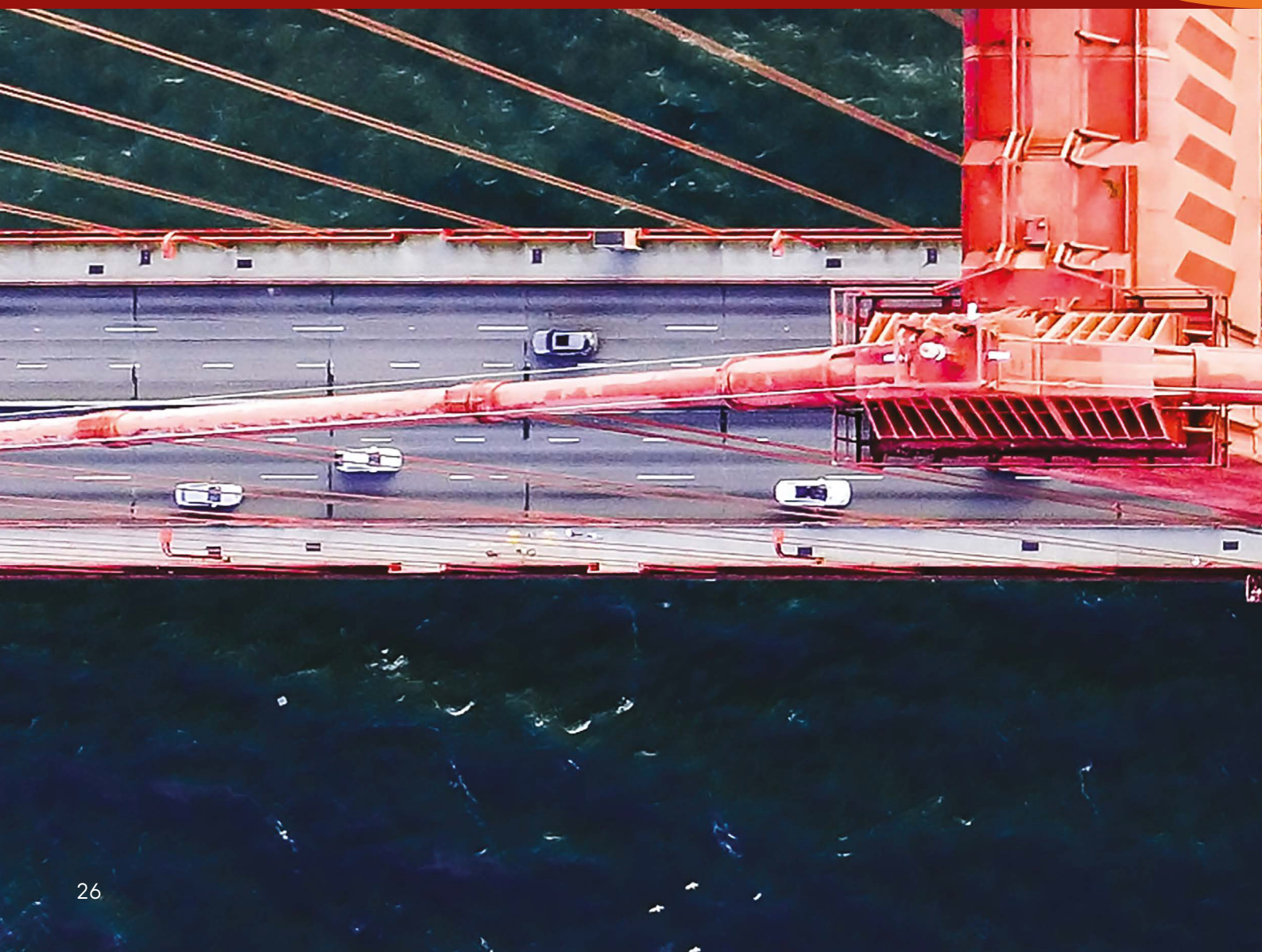
IFFは、社員が積極的で能動的な市民であることを推奨しています。ただし、時間、施設、設備、備品を含む会社のリソースを、個人的、政治的、コミュニティの活動に使用してはなりません。職場で勧誘を行ったり、政治関連文書を配布することは認められません。政治活動や地域活動への個人的な参加はあなたの選択であるため、雇用には影響しません。

すべてのロビー活動、政府職員とのやり取りなど、IFFに代わって政治活動を行う場合は、必ず事前に倫理・コンプライアンスまたは法務部から許可を得る必要があります。さらに広報と調整する必要があります。IFFは、IFFによるいかなる政治運動、政治団体、または候補者への寄付も、または個人の政治献金への返金も、直接間接を問わず厳しく禁止しています。



# ビジネスにおける 誠実さ

IFFにおいて、誠実さは、社内での業務のやり方から外部パートナーやその他の第三者との関わり方まで、業務のあらゆる側面を導きます。事業活動や関係を問わず、当社の倫理的行動への取り組みは揺るぎないものです。次のセクションでは、私たちが行うすべての業務においてこれらの基準を維持するために役立つ、主要なコンプライアンストピックの概要を説明します。





# 公平で透明性の高いビジネス慣行に取り組む

私たちは社内での業務のやり方において、公正さ、倫理性、透明性を維持します。私たちの行動を当社の価値観に合わせて絶えず調整することで、組織のあらゆるレベルで信頼と信用を築き、チーム間のコラボレーションを強化する相互尊重を育成します。

## 利益相反について透明性を維持する

倫理的で透明性が高い会社として事業を運営するためには、組織内外の利益相反の回避が不可欠です。利益相反がある場合、それがあなたの判断に影響を与え、あなたの公平な意思決定をする能力を損なう可能性があります。IFFで勤務している間は、個人の利益や関係がIFFにおける業務上の義務と対立する、あるいはそのように見えることすらあってはいけません。

実際の利益相反、発生する可能性のある利益相反、または利益相反を認識した場合はすべて、直ちに上司に報告し、IFFの倫理・コンプライアンスポータルを通じてオンラインで報告しなければなりません。利益相反に関する追加のガイダンスおよび開示プロセスに関する手順については、[IFF利益相反方針](#)を参照してください。

## 利益相反とは？

利益相反には様々な形があり、個人的な活動や関係により、IFFの利益を最優先して行動する能力を直接的または間接的に損なったり、そのように見える場合に発生します。

利益相反には次のような例があります。

- IFFと競合する、または競合するよう見える活動に従事する
- 競合他社やサプライヤー、ベンダー、お客様と個人的または金銭的な関係を持つ、または利害関係を持つ
- 家族と業務や取り引きを行ったり、家族の個人的・経済的な利益に関係した取り引きを行う
- 就業時間中に、またはIFFの資源や資産を使って、IFF業務以外の活動を行う
- 上司または部下と恋愛関係になる
- 競合他社やサプライヤー、IFF顧客のコンサルタントとして仕事をする
- IFFの雇用中に、他社の社員、役員、取締役として勤務する

開示が重要です。通常、相反することは違反ではありませんが、相反を開示しないことは違反です。



## あなたならどうしますか？

### 問題

IFF社屋の警備を従弟の会社に発注したいと考えています。従弟が最適な価格で、他社と同じ質のサービスを提供してくれる限り、大きな問題ではないと思います。

警備会社の社長と親類であることをマネージャーに報告すべきでしょうか？

### 解答

はい。親類がIFFのベンダーまたはサービス提供者の社長や社員である場合、利益相反の可能性があるのであります。このような状況の場合は、IFFの倫理・コンプライアンスポータルを通じて利益相反を報告し、マネージャーや倫理・コンプライアンス、法務部から事前に承認を得なければなりません。

## 正確な記録を維持する

正確かつ完全に帳簿や記録を作成することは、法律によって定められており、IFF事業を管理し、財務報告書を正確かつ完全に維持しておく上で不可欠です。そして、最終的にはそのすべてがIFFの信用や評判を左右することになります。

「帳簿や記録」は、電子的なもの、またはハードコピーがありますが、財務会計関連に限らず、IFFの業務で準備、作成、維持されるあらゆる記録を意味しています。具体的には、請求書、発注書、契約書、タイムシート、給与明細、旅費および経費報告書、試験結果、計測結果、技術的脆弱性報告書、安全環境報告書、官公庁への提出文書などが含まれます。

対象となる記録が膨大であることを考慮すれば、その正確性や完全性を維持する責任は、IFFの経理会計担当者だけでなく、社員一人ひとりにあります。例えば経費報告書やタイムシート、発注書を提出するなど、業務上の記録作成に関わった場合、責任を持って、正確かつ公正な情報を提出しなければなりません。

IFFの帳簿や記録への虚偽の記載や情報の隠蔽は重大な違反となります。これには次のような項目が含まれます。

- 発注日や支払日の記録を遅らせる
- 取り引きに関し、不正確または誤解を招く情報を記録する
- 検査報告、試験データ、その他会社の文書を改ざんする

これに関するルールは明確です。あらゆる記録および報告書はすべて完全に公正、正確かつタイムリーでなければなりません。また、誤解を招く内容を記載してはならず、例外はありません。

# インサイダー取引および重要な非公開情報の開示を防ぐ

重要な非公開情報(「内部情報」)を保有しながら、IFFの有価証券(または他社の証券)を売買することは違法であり、非倫理的なことです。

**IFFは以下を厳しく禁止しています。**

- IFFに関する重要な非公開情報を把握している際に、IFFの株式、ストックオプション、またはその他の有価証券を売買する
- IFFでの業務を通じて得られた重要な非公開情報に基づき、お客様やサプライヤーを含む他社の有価証券を取引する
- 投資家、アナリスト、家族、友人などと、重要な非公開情報を共有または開示する

「重要な非公開情報」とは、一般に公開されておらず、ある会社の有価証券を売買または保持するか否かを判断する上で、合理的な投資家が重要と見なす情報を指します。重要な非公開情報の例は次の通りです。

- 未公開の財務実績または予測
- 合併、買収、または会社分割
- 経営陣の人事
- 新製品の発売や製品革新。
- 重要な顧客または契約の変更
- 係争中の訴訟または規制措置

違反により、あなたや他の関係者が厳しい民事罰や刑事罰を受ける可能性があります。詳細については、[IFFインサイダー取引方針](#)を参照し、質問や懸念がある場合は法務部に連絡してください。



# 倫理的な取引を通じて ビジネスパートナーとの 信頼関係を構築する

IFFは、ビジネスパートナー、ベンダー、第三者とのあらゆるやり取りにおいて、倫理的に、責任を持ってビジネスを行うことに取り組んでいます。

## ビジネスパートナーと協力する場合の要件:

- 不公平または不正な行為を避ける
- すべてのパートナーに、公正かつ公平に、客観的に対応する
- 当社の製品とサービスについて透明性を維持する
- 適切な調達とソーシングの手順に従う
- 実績に基づき、利益相反のないパートナーを選択する
- 守秘義務を守る
- パートナーの知的財産権およびその他の財産権を守る

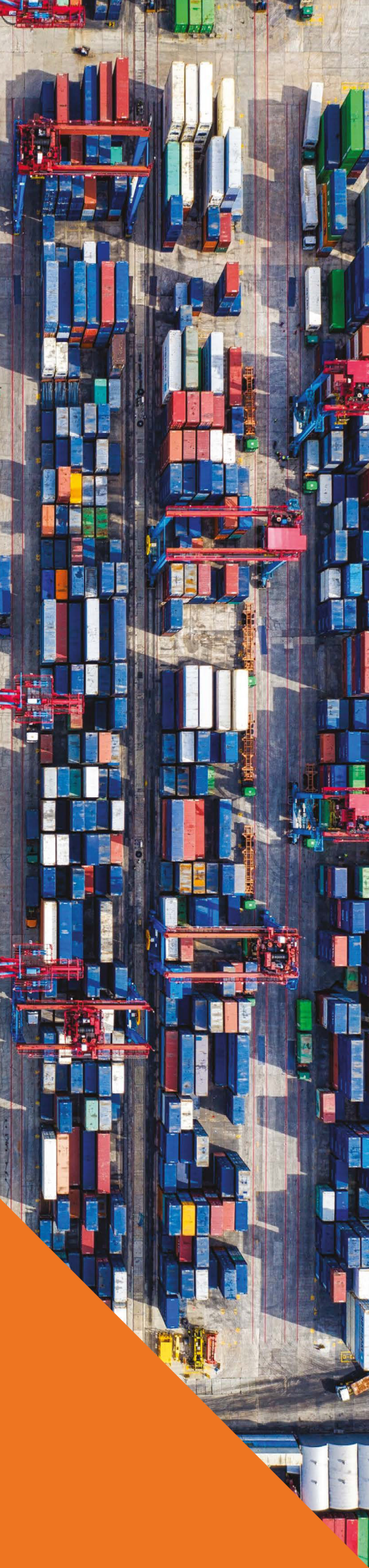
## ビジネスパートナーに同等の基準を求める

私たちは、最高の倫理的、法的、専門的基準を維持することに取り組んでいます。同様に、私たちは当社サプライヤーやビジネスパートナーがこれらの価値観を共有し、誠実さと透明性を維持し、結果に責任を持って業務を行うことを求めます。

私たちは、倫理的なビジネス慣行に対する当社の取り組みを共有するパートナーとのみ協力します。すべてのベンダーは、労働基準、贈収賄防止、機密保持、適用される法律および規制の遵守などの要件を示したIFFのベンダー行動規範を遵守することが求められます。これらは、IFFとビジネスを行うための最低限の要件です。

IFFを汚職やその他のリスクから保護するには、適切なデューデリジェンスと身元調査が必要です。詳細については、「IFFの第三者デューデリジェンス手順」を参照してください。





## マネーロンダリングおよび関連活動に対する警戒を怠らない

IFFは、マネーロンダリング、テロ資金供与への関与、違法または規則に違反した目的で会社のリソースを使用することを厳しく禁止しています。マネーロンダリングは、犯罪で得た利益が合法だと見せかけるため、しばしば複雑な取引やシェルカンパニーを通じて、これらの利益の出所を偽装するプロセスです。

ビジネス取引において、疑わしい行動に対する警戒を怠らないでください。ビジネスパートナーまたは第三者が違法な、または疑わしい行為に関与している疑いがある場合は、直ちに倫理・コンプライアンス、または法務部に連絡してください。

## 貿易管理法に従う

IFFはグローバル企業として、その専門知識、創造性、製品を世界中に、多くの国境を越えて提供しています。グローバルで事業を行うことは、IFFが事業を行う各国の貿易管理法の対象になることを意味し、IFFは以下を含むこれらの法律の完全な遵守に取り組んでいます。

- 特定の製品、技術、ソフトウェア、または特定の国、個人、団体に関連する事業活動へのIFFの関与を制限または禁止する、輸出管理、貿易制限、貿易禁止、および経済制裁
- 米国政府に承認または認可されていない国際的なボイコットへの会社の参加または協力を禁止する反ボイコット法
- 製品、技術、ソフトウェアを国境を越えて移転する前に、IFFおよびそのビジネスパートナーに関税の支払い、および/または特定のライセンス、許可、またはその他の書類の取得を要求する、その他の輸入/輸出法

貿易管理法と反ボイコット法は複雑で、急に变化する可能性があります。質問や懸念がある場合は、行動を起こす前に法務部に連絡してください。特に、あなたがIFFにおいて、製品を購入または販売する場所や相手について決定する立場にある場合、または国境を越えたビジネス取引に関与している場合には、IFFの貿易管理方針に従う必要があります。

## 公平に責任を持って競争する

IFFは、事業を行うすべての市場において、公平かつ倫理的に競争することに取り組んでいます。当社は、独占禁止法や競争法に違反する行為を厳しく禁止しています。これらの法律は、消費者を保護し、公平な競争を促進するために設計されました。

展示会や業界イベント、社交的な集まりなどの非公式な会話であっても、これらのトピックに触れると、深刻な法的懸念が生じる可能性があります。話し合いややり取りが適切かどうか分からない場合は、直ちに法務部に相談してください。

直接的または間接的に、競合他社と合意してはならない内容:

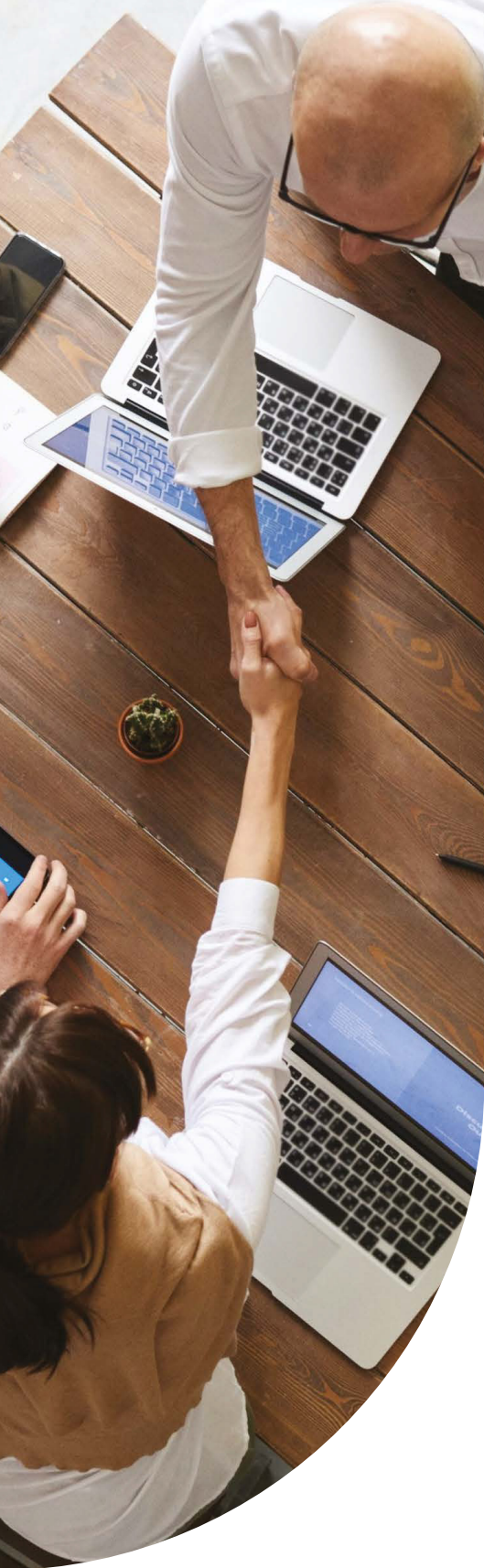
- 価格、割引、リベート、またはその他の販売条件を修正または調整する
- 入札の提出や入札を合わせる、または調整する
- 市場、地域、顧客、または製品ラインを分割する
- サプライヤーをボイコットする、または生産を制限する
- 雇用関係を不適切に制限する

## 競合他社の情報を取り扱う

私たちは精力的でありながらも、公平に競争します。違法な、または非倫理的な手段で、競合他社の情報を取得、使用、または共有してはなりません。容認されるソースには、公開文書、ニュース記事、公に入手可能なプレゼンテーションが含まれます。不正行為、虚偽表示、または第三者を通じて、機密情報を求めてはなりません。

## 競合他社が顧客でもある場合

IFFが競合他社に製品を供給する場合、話し合いはその特定の取引条件に厳密に限定しなければなりません。IFFの他の製品またはサービスの価格や取引条件について話し合ってはなりません。



## これが重要な理由

独占禁止法に違反すると、個人およびIFFに、刑事告発を含む厳しい罰則が科せられる可能性があります。これらの法律は複雑で、善意の行動であっても深刻な結果を招く可能性があります。

詳細については、IFF独占禁止および競争方針を参照し、質問や懸念がある場合は法務部に連絡してください。

## あなたならどうしますか？

### ? 問題

先日の業界団体の会合で、競合他社の一人が、より少ない労力で利益を最大化するには、地域の市場を分割することが有益だと非公式に提案しました。彼女は、この会話は「オフレコで」と付け加えました。

不快に感じましたが、これは大丈夫でしょうか？

### 💡 解答

いいえ、絶対にいけません。業界団体の会合は合法的な業界の目的にもかなうものですが、競合他社には注意して接する必要があります。価格設定、販売条件、市場地域、顧客割り当てなどについて競合他社と話し合うことは、独占禁止法によって厳しく禁止されており、避けなければなりません。このようなトピックについて競合他社が協議を持ちかけてきた場合、すぐに相手にやめるように求め、その場を立ち去る必要があります。また、法務部に遅れることなく状況を報告してください。

## 製品のコンプライアンスと規制の完全性を保証する

IFFは、当社製品の安全性、品質、完全性を管理する、すべての適用される法律、規制、業界基準を完全に遵守することに取り組んでいます。これには、食品、化粧品、医薬品、化学分野にわたる、複雑で進化する要件が含まれます。

### 私たちが保証すべきこと:

- 当社の製品と原材料が、当社が事業を行うすべての市場において法的承認要件を満たしている
- 製品ラベルは正確で透明性があり、現地の規制および国際的な規制に準拠している
- 当社の製品に関する主張は真実であり、実証され、規制当局の要求に沿っている
- 製造、梱包、出荷のプロセスが、適用される安全および品質基準に従っている

規制の遵守は任意ではなく、消費者を保護し、信頼とIFFの評判を維持するために不可欠です。すべての社員に、業務に適用されるルールを理解し、必要に応じて助言を求めることを期待します。

規制要件または製品コンプライアンスについて質問がある場合は、直ちに上司、規制部門、または法務部に連絡してください。



## あなたならどうしますか？

### 問題

お客様にフレグランスをプレゼントしようと思っ  
ていますが、それには社内でまだフレグ  
ランスとしての使用許可が下りていな  
い材料が使用されています。ただし、フ  
レーバーとしての使用はすでに認めら  
れています。このフレグランスをプレ  
ゼントしてもいいですか？

### 解答

いいえ。製品の「最終用途」に関する社内  
審査が完了するまでは、その材料を使  
用することはできません。フレグランス  
に適用される規制が常にフレーバーと  
同じとは限りません。その逆もまた同  
様です。

### 問題

あるサプライヤーから、その製品に微量  
の混入物質が含まれているが、混入量  
は極めて低く、安全性に問題はないと  
いう連絡がありました。また、混入物を  
取り除くための対策も講じているそう  
です。上司に報告する必要がありますか？

### 解答

はい、直ちに報告してください。当社の  
製品または材料について、環境、安全  
、品質に関する問題が僅かでもあり  
得る場合は、判明次第すぐに報告しな  
ければなりません。直ちに規制部門ま  
たは法務部まで連絡してください。



# IFFの有形固定 資産と資産の保護



# 詐欺、窃盗、無駄、不正使用を禁止する

IFFの社員は、所有者として行動し、会社のリソースを自身のものであるかのように保護します。これらのリソースは顧客に価値を提供するために不可欠で、有形資産(施設や設備、資金など)と無形資産(知的財産や機密情報、専有ノウハウなど)の両方が含まれます。

IFFの財産および資産は、業務目的にのみ使用しなければなりません。個人的な利益、非倫理的な行為、または違法行為を目的として、会社のリソースを悪用、窃盗、使用することは厳しく禁止されています。



## その責任には、以下のものがあります。

- 原材料やサービスを調達する際、IFF調達方針に従う
- 特に出張や接待においては、旅費および事業経費方針に従い、会社の資金を責任を持って使用する
- すべての取引が適切に承認され、認定署名者と承認者方針(ASAP)で設定された制限内にあることを確認する
- 雇用終了時に、物理的またはデジタルのすべての会社資産を返却する

IFFのリソースの詐欺や窃盗、不正使用の疑いがある場合、直ちに報告してください。違反により懲戒処分が科され、場合によっては刑事責任を問われる可能性があります。

# 当社の知的財産、営業秘密、機密情報を保護する

IFFの成功は、当社の競争力、評判、法令遵守を維持するために不可欠な機密情報、専有情報、知的財産、ブランド資産の保護にかかっています。当社の発見、調合方法、製造プロセス、科学的データの機密性と完全性を守ることで、業界の最前線に立つ続けることができます。優れた製品やサービスを提供し続けるためには、これらの固有の資産に加え、販売データや価格データなどの機密情報を保護する必要があります。あなたには、IFFの機密情報、および当社の社員、顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーの機密情報への不正アクセスや不正使用を防ぐ責任があります。

## 保護すべきもの



- **知的財産と営業秘密:** 雇用中に作成されたすべての知的財産は、会社が所有し、多くの場合機密です。これはIFFのビジネスのためにのみ使用し、第三者と共有してはなりません。これには、発明、調合方法、プロセス、製品、顧客リスト、プログラム、特許、商標、著作権、営業秘密、ドメイン名、改善事項が含まれます。また、IFFが他者の知的財産権を侵害しないよう支援する責任もあります。新製品やプロセスを立ち上げる前に、法務部の知的財産チームに特許審査を依頼してください。



- **IFFブランドとロゴ:** IFFの名称とロゴは当社の最も貴重な資産の一つで、その価値を維持するために適切に使用しなければなりません。IFFのブランドガイドラインを熟知し、同僚や顧客、サプライヤー、競合他社による(特にオンラインでの)悪用を監視し、懸念事項があればラインマネジメント、コーポレートコミュニケーション、マーケティング、または法務部の知的財産チームに報告してください。



- **機密情報および専有情報:** これには、IFF、当社の社員、顧客、またはビジネスパートナーに関する非公開情報が含まれます。例として、戦略的計画、ブランド資産、社員データ、営業秘密(調合方法やレシピなど)、製品仕様、財務および営業データ、研究開発、製造方法、顧客およびサプライヤーの詳細、価格戦略、システム認証などが挙げられます。公に入手できない情報で、その開示がIFFに害を及ぼす、または法律や方針に違反する可能性がある場合、その情報は機密として扱わなければなりません。

特定の情報が機密かどうか分からない場合は、次の質問に答えてください。

その情報は一般アクセスが  
制限されているか？

その情報の開示は、IFFまたはIFFの社員や  
ビジネスパートナーに害を及ぼす、または  
不利益を与える可能性があるか？

その情報が共有されると、あなたの仕事や他者の  
仕事が危険にさらされる可能性があるか？

その情報の開示または使用が法律または規制  
に違反するか？

上記の質問のいずれかに対する回答が「はい」の場合、その情報は機密であると見なし、それに応じて扱うべきです。限られたグループにのみ知らされていて、商業的価値があり、積極的に保護されている情報は、営業秘密として認定される場合があります。この情報を保護する義務は、雇用中および退職後も適用されます。

IFFが競争上の優位性を維持するため、IFFの機密情報と営業秘密方針を遵守することにより、営業秘密と機密情報を効果的に保護する措置を講じなければなりません。この義務は、職場外や勤務時間外を含め、雇用中は常に適用され、IFFの退職後も継続します。



## 機密情報を伝える

機密情報や専有情報を共有する場合、Eメールやインスタントメッセージを含む書面、対面、または仮想会話のいずれであっても、常に慎重に注意深く行う必要があります。携帯電話、公共の場所、または社交的な集まりで機密情報や専有情報について話すときは、周囲に注意してください。機密情報や専有情報を保護する義務は、友人や他社の同僚、家族との会話にも適用されることを忘れないでください。この義務は、IFFの退職後も継続します。

機密情報を開示できるのは権限を与えられた個人のみで、適切な保護措置を講じたうえで、ビジネス目的に必要な場合に限り、ます。ある情報が機密情報または専有情報か、開示できるかについて質問がある場合は、法務部に助言を求めてください。

IFFの情報を安全に機密として維持する方法の詳細なガイドランスについては、機密情報と営業秘密方針、および規制の公平な開示方針を参照してください。



## あなたならどうしますか？

### 問題

IFFの研究開発グループに所属していた化学者が退職し、別の製薬会社に入社することになっています。その化学者は、IFF在職中に自分が作成したいくつかのプロセスに関連したファイルを、今後IFFでそのファイルが使われることはなさそうなので、コピーしておくつもりだと言っていました。この情報は持ち出していいのでしょうか？

### 解答

いいえ。プロセスや発明を含め、社員がIFF在職中に作成したものはすべてIFFに帰属します。すべての創作はIFF業務と関連する場合にのみ使用されるものであり、いかなる場合も社員が退職後に持ち出したり、使用することはできません。

### 問題

私は、IFF顧客の中でも最大規模の会社の顧客担当マネージャーをしています。このお客様から最近、購入した製品の調合方法を教えて欲しいと頼られました。お客様にこの情報を提供してもよいですか？

### 解答

適切な条件の下で適切な承認を受けることを前提に、可能な場合があります。調合方法や材料は、厳格な開示指示書や秘密保全手順に従い、規制部門か法務部による事前の承認を得た場合に限り開示ができます。規制に関する理由でお客様から開示を求められた場合は、規制部門まで、その他の場合は法務部まで連絡してください。

# 外部との コミュニケーションと プライバシー





# コミュニケーションと ソーシャルメディアに 慎重に対応する

IFFは上場企業として、すべての外部とのコミュニケーションが正確で一貫性があり、当社の企業メッセージと整合していることを保証しなければなりません。当社の評判を守り、法律および規制要件を遵守するため、指定された代表者(CEO、CFO、IR、コーポレートコミュニケーションチームの担当者など)のみが、IFFを代表して発言する権限を与えられています。

内容に関する明示的な許可と承認を得ない限り、IFFの事業、経営、社員、パートナーに関して、公式に発言したり、問い合わせに回答してはなりません。これは次の各項目に適用されます。

- 従来の報道機関(テレビ、ラジオ、印刷物など)
- 講演活動や公開フォーラム
- プライベートまたは業務用のソーシャルメディアアカウント
- 書籍、記事、その他公開コンテンツ
- オンラインプラットフォームやコンテンツ共有サイト
- 公式かオフレコかを問わず、投資家やアナリストなどからの情報要請

コメントや情報について問い合わせを受けた場合は、[media.request@iff.com](mailto:media.request@iff.com)または、本社広報部門に対応を依頼してください。

# ソーシャルメディアを利用する



## 推奨事項

- IFFに関する情報を公開プラットフォーム上に投稿する場合、必ずあなたがIFFの社員であることを開示するあなたの考えが、IFFのものではなく、あなただけのものであることを明確にする
- 常に他社のブランド、商標、著作権を尊重する
- 敬意を持ってプロフェッショナルにコミュニケーションを行う



## 禁止事項

- IFFの機密情報を共有しない
- IFFの顧客、ビジネスパートナー、社員に関する情報を共有しない



詳細については、[IFFの外部とのコミュニケーション方針](#)および[ソーシャルメディア方針](#)を参照してください。

# 技術および通信システムを責任を持って使用する

IFFは事業運営をサポートするため、コンピュータ、モバイルデバイス、ソフトウェア、サーバー、Eメール、インターネットアクセスを含む電子通信および情報システムを提供します。これらのシステムと、これらによって送信または保存されるすべてのデータは会社の資産であり、責任を持って使用しなければなりません。偶発的な個人使用は、現地の方針または雇用契約によって制限されていない限り、認められます。ただし、そのような使用により、事業運営を妨げたり、生産性を低下させたり、IFFをリスクにさらしたりしてはなりません。

## 適切な使用

社員は、IFFシステムをプロフェッショナルで合法的な方法で使用することが求められます。

### 不適切な使用例:

- 虐待的、脅迫的、中傷的、またはその他の攻撃的なコンテンツを送信する、またはこれらにアクセスする
- 機密データ、専有データ、または個人データを無許可で共有またはコピーする
- 適切な認証なしで、システム、ファイル、またはネットワークにアクセスする
- 個人的なビジネス、政治的な資金調達、宗教的な活動にIFFシステムを使用する
- 違法行為、非倫理的行為、またはコンプライアンス違反行為に関与する

## セキュリティと機密性

IFFのデジタル資産を保護することは、共有の責任です。すべきこと:

- パスワードとアクセス資格情報を保護して、偶発的または不正なアクセスからIFFシステムを保護する
- 承認されたIFFシステムとアプリケーションのみを使用して、ビジネス情報を送受信または保存する
- 書面で明示的に許可されていない限り、個人のEメールアカウント、第三者のファイル共有プラットフォーム、または許可されていないメッセージングアプリを、IFFのビジネスに使用しない

## 監視とプライバシー

IFFは、適用される法律に従い、個人的なEメールやインターネットの使用を含め、IFFシステム上の通信および活動を監視、アクセス、レビュー、削除、記録する権利を留保します。

詳細については、[IFFの利用規定](#)および[関連ガイドライン](#)を参照してください。

IFFのデータが不適切に取り扱われている、または不適切に開示されている疑いがある場合は、直ちにデジタルテクノロジーソリューションズ(DTS)に連絡してください。

# 人工知能(AI)を 倫理的に活用する

IFFは、当社ビジネス全体の革新、効率性、創造性を強化するため、人工知能の潜在能力を利用します。ただし、人工知能の使用には責任が伴います。AIの使用は、倫理的で透明性があり、当社の価値観、方針、法的義務と整合していなければなりません。



## AIの責任ある使用と開発

社員は、以下の方法でのみAIツールを使用しなければなりません。

- 適用される法律、規制、IFF諸方針を遵守する
- AIが生成したすべての出力を使用・配布する前に、正確性について人間が監視する
- すべてのIFFのデータ(機密データ、専有データ、個人データを含む)を保護する
- ビジネスパートナーのデータを保護する
- 誤解を招くコンテンツや偏見のあるコンテンツ、不適切なコンテンツの生成または共有を避ける
- 特に結果が意思決定やコミュニケーションに使用される場合、透明性と追跡可能性が保証されている



## 禁止されている使用方法

AIツールを使用すべきでない目的:

- 不正なコンテンツ(なりすまし、ディープフェイクなど)を作成または配布する
- 内部統制を回避する、または制限されたタスクを自動化する
- 機密性の高い企業データや顧客データを、公開された、または未承認のAIプラットフォームに入力する
- IFFの行動規範に違反する、または当社の評判を損なう可能性のある結果を生成する

業務を支援するためにAIを使用する場合、結果の正確性、妥当性、影響について責任を負います。ツールがどのように使用されたかを説明でき、必要に応じてその使用を開示する必要があります。

AIツールのすべての使用は、それらの使用、承認されたプラットフォーム、ユースケース、リスク軽減方法を規定したIFFの人工知能方針に従わなければなりません。社員は、疑問がある場合、法務部、倫理・コンプライアンス、またはデジタルテクノロジーソリューション(DTS)に助言を求める必要があります。

# プライバシーを守り個人データを保護する

IFFは、当社の社員、顧客、ビジネスパートナー、および当社がビジネスを行うその他の人々のプライバシーと個人データの保護に取り組んでいます。私たちは、責任を持って、安全に、適用されるプライバシー法とIFF諸方針に従って、個人データを取り扱います。

## 個人データとは？

個人データには、個人を識別できるあらゆる情報が含まれます。



名前



Eメールアドレス



政府ID



社員ID



電話番号



金融口座の詳細



ログイン認証情報

IFFは、社員の福利厚生管理、顧客およびパートナーとの関係管理、法律上および規制上の義務の遵守を含む、正当なビジネス目的のために個人データを収集します。

役割として個人データにアクセスする場合には、以下を遵守する必要があります。

- 正当なビジネス目的でのみ、個人データを収集、使用、共有する
- アクセスと使用を、職務上必要なものに制限する
- 不正アクセス、紛失、悪用から、個人データを保護する
- 正当な知る必要性のない人物(IFFの社内または社外)への個人データの開示を避ける
- 雇用終了後も、機密保持を継続する

また、当社に代わって個人データを取り扱う第三者にも、適用されるプライバシー法および契約上の義務を遵守することを求めます。

詳細については、IFFの社員プライバシー方針および関連するデータ保護手順を参照してください。個人データの保護またはプライバシー要件について質問がある場合は、法務部に問い合わせてください。個人データの悪用、紛失、窃盗、または不適切なアクセスの疑いがある場合は、直ちにDTSおよび法務チームに報告してください。

# 文書を適切に保管する

IFFは、日々大量のビジネス記録(紙および電子形態の両方)を生成しています。作成と保守から適切な保存と最終的な廃棄まで、ライフサイクル全体にわたって、これらの記録を管理する責任があります。

すべての記録は、IFFの記録保管方針に従って保管および廃棄されなければなりません。財務データや社員の個人情報などの機密記録を扱う場合は、これらの要件を理解して従うという、より重い責任を負います。

## 法的保全義務と例外

IFFの標準保管期間は、文書が法的保全義務の対象になる場合、適用されません。係争中または潜在的な訴訟、調査、監査、または規制調査に関する記録を維持するよう通知された場合、それがなければ削除する予定だったとしても、関連するすべての文書を保管する必要があります。

法的保全義務の対象の記録の破棄もしくは変更は、たとえ意図しないものであっても、社員とIFFの両方が重大な法的責任を問われる可能性があります。

文書を保管する必要があるかどうかについて確信が持てない場合は、文書を保管の上、記録保管方針を参照するか、法務部に連絡してください。

2026年3月に更新

©2026 International Flavors & Fragrances, Inc.

無断複写・複製・転載を禁ず。

IFFは登録商標です。

521 West 57th Street  
New York, NY 10019  
United States

\*社員各位への注意事項: この行動規範は契約ではありません。社員の具体的な権利を定めるものでも、特定期間の雇用を保証するものでもありません。本規範に記載されている「IFF」とは、International Flavors & Fragrances Inc.、並びにその子会社、系列会社に加え、株式の全部もしくは過半数を、直接または間接的に所有しているか管理している会社を指します。本規範には全体を通して、IFF諸方針、手順、基準、ガイドライン(総称して「IFF諸方針」)が参考文書として登場します。ほとんどの場合、本規範に記載されるのは方針の重要なポイントや概要のみです。各方針の完全版は、[IFFConnect](#)にアクセスするか、倫理・コンプライアンスもしくは人事部までお問い合わせください。